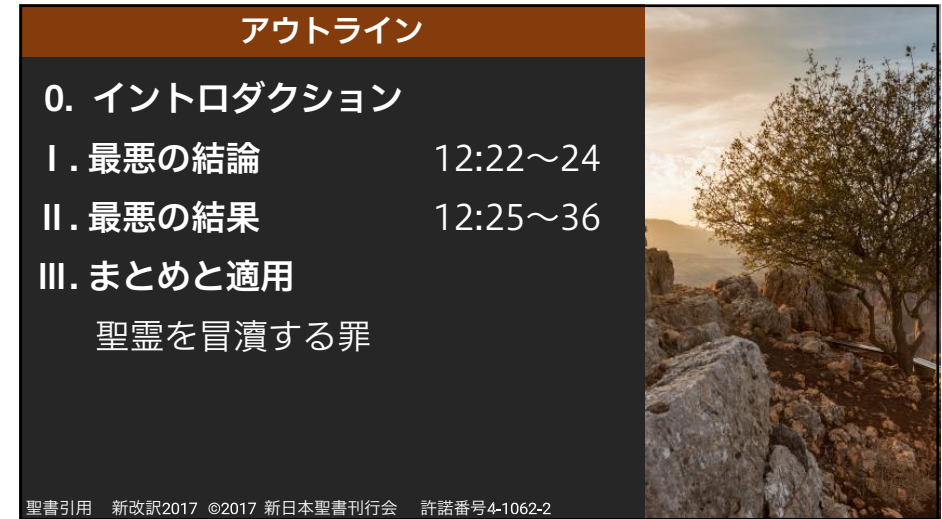




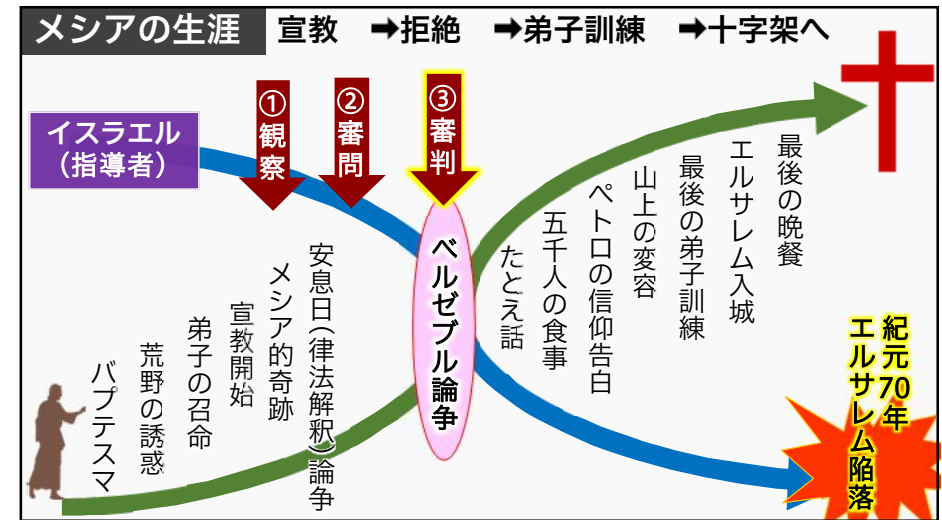
44



45



46



47

ついに下される、サンヘドリンの結論

- 「ナザレのイエスはメシアなのか？」
 - ➡12弟子の派遣前に、すでに広まっていた言説が!!
 - 「家の主人が**ベルゼブル**と呼ばれるくらいなら…、マタ10:25」
- サンヘドリン(ユダヤ議会)の見解が、公のものに!!
 - ➡悪霊のかしら(サタン)・ベルゼブルの力によるイエスの奇跡
- メシアをベルゼブルと呼んだ、イスラエルの罪。
 - ➡その重大な結果が詳細に告げられるのが、25～36節。

48



Ⅰ. 最悪の結論 マタイ福音書12章22～24節

ガリラヤ湖

49

本編 癒やし マタイ12:22

そのとき、悪霊につかれて目が見えず、口もきけない人*が連れて来られた。イエスが癒やされたので、その人はものを言い、目も見えるようになった*。

*悪霊の追い出しが最も難しいケース

➡悪霊の名を聞き出せない

*メシアにのみ可能とされたメシア的奇跡

メシアの明確なしるしを示されたが…



50

本編 最悪の結論 マタイ12:23～24

群衆はみな驚いて言った。「もしかすると、この人が**ダビデの子***なのではないだろうか」

これを聞いたパリサイ人たちは言った。「この人が悪霊どもを追い出しているのは、ただ悪霊どものかしら**ベルゼブル***によることだ」

*ダビデの子孫に産まれるメシア(呼称)

*バアル・ゼブル(ペリシテのエクロンの神)

➡転じてバアルゼブブ(ハエの王)と揶揄

➡悪霊のかしら(サタン)を差すように



51



52

本編 論理的矛盾 マタイ12:25～26

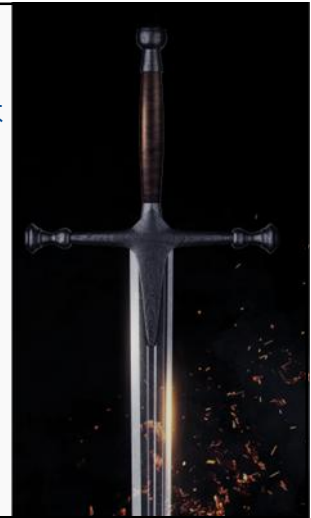
イエスは彼らの思いを知って言われた。「どんな国でも分裂して争えば荒れすたれ、どんな町でも家でも分裂して争えば立ち行きません。

もし、サタンがサタンを追い出しているのなら、仲間割れしたことになります。それなら、どのようにしてその国は立ち行くのですか。」

■ 多くの悪霊憑きがいる現実には彼らも認識。

➡ 悪の勢力が分裂しているわけがない

➡ 一致してメシアを攻撃



53

本編 自縄自縛 マタイ12:27

また、もしわたしが、ベルゼブルによって悪霊どもを追い出しているとしたら、あなたがたの子ら*が追い出しているのは、だれによってなのですか。そういうわけで、あなたがたの子らが、あなたがたをさばく*者となります。

*パリサイ派の弟子たち

*内部で分裂し、弟子たちに訴えられる

■ パリサイ人の非難が、彼ら自身に戻る。



54

本編 メシア的王国 マタイ12:28

しかし、わたしが神の御霊によって悪霊どもを追い出しているのなら、もう神の国はあなたがたのところに来ている*のです。

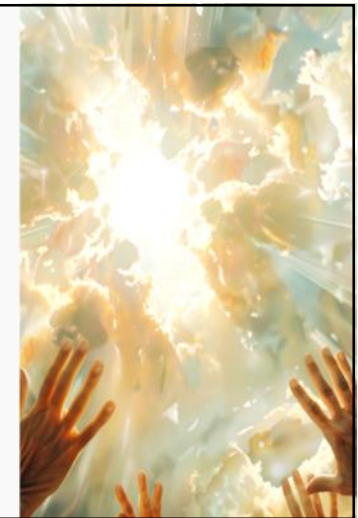
* 神の国をもたらしメシアが目の前に!!

■ 真に悪霊を追い出せるのは、神の御霊。

➡ 聖霊と悪霊は、同居不可能。

聖霊が内住される信仰者に、

悪霊がつくことはできない!!



55

本編 **メシアの権威** マタイ12:29

まず強い者を縛り上げるのでなければ、強い者の家に入って家財を奪い取ることが、どうしてできるでしょうか。縛り上げれば、その家を略奪できます。

■メシアは、神の権威をもって、その人を支配する悪霊を縛り、解放する。

➡メシアは、悪霊、サタンよりも強い
悪霊払いにサタンの助けなど不要



56

本編 **メシアへの敵対者** マタイ12:30

わたしに味方しない者はわたしに敵対し、わたしとともに集めない者は散らしている*のです。

*イスラエルの民を神から遠ざけている。

➡民を散らすのは、悪の側の働き。

■メシアにつくのか？ つかないのか？

➡どちらか一つ!!



57

本編 **聖霊への冒瀆** マタイ12:31

ですから、わたしはあなたがたに言います。人はどんな罪も冒瀆も赦していただけますが、御霊に対する冒瀆は赦されません*。

*メシアと共に働く神の御霊を悪霊呼ばわり。

➡神の民イスラエルにあるまじき罪

■メシアの奇跡を拒絶するのは、
背後に働く神の御霊(聖霊)を拒絶すること。
すなわち、神を拒絶すること。

神の救いを拒む者を 神は救われない



58

本編 **聖霊の働き** マタイ12:32

また、人の子に逆らうことばを口にする者でも赦されます。しかし、聖霊に逆らうことを言う者*は、この世でも次に来る世でも赦されません。

*悔い改めも聖霊の助けがあつてこそ。

■信仰の告白も、聖霊による御業

「聖霊によるのでなければ、だれも『イエスは主です』と言うことはできません。

Ⅰコリ 12:3」



59

本編 木の良し悪し マタイ12:33

木を良いとし、その実も良いとするか、木を悪いとし、その実も悪いとするか、どちらかです。木の良し悪しはその実によって分かります。

■ 行いという実 ヤコブ3:17

「しかし、上からの知恵は、まず第一に清いものです。それから、平和で、優しく、協調性があり、あわれみと良い実に満ち、偏見がなく、偽善ありません」



60

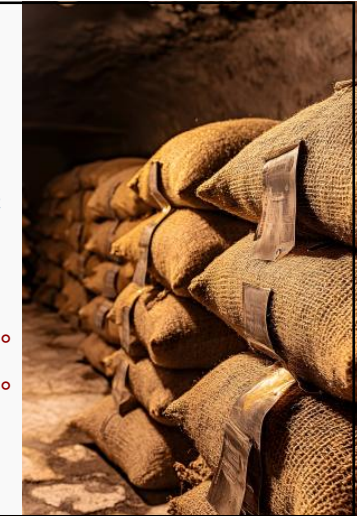
本編 心の内 マタイ12:34~35

まむしの子孫たち、おまえたち悪い者に、どうして良いことが言えますか。心に満ちていることを口が話す*のです。

良い人は良い倉から良い物を取り出し、悪い者は悪い倉から悪い物を取り出します。

*悪い言葉は、自分自身の悪い心から出る。
相手が言わせた？ 誰のせいにもできない。

私の心は何で満ちている？



61

本編 神の裁き マタイ12:36

わたしはあなたがたに言います。人は、口にするあらゆる無益なことばについて、さばきの日*に申し開きをしなければなりません。

あなたは自分のことばによって義とされ、また、自分のことばによって不義に定められるのです。」

*主によるさばきの日

「ガラテヤ6:7~8 思い違いをしてはいけません。神は侮られるような方ではありません。人は種を蒔けば、刈り取りもすることになります。

自分の肉に蒔く者は、肉から滅びを刈り取り、御霊に蒔く者は、御霊から永遠のいのちを刈り取るのです。」



62



Ⅲ. まとめと適用 神のいつくしみと厳しさを

ガリラヤ・ティベリアス

63

イスラエルがメシアを公に拒んだ結果

- 主イエスが告げられた、拒絶がもたらす結果
 - ① 自分たち自身に矛盾を抱え、**分裂**
 - ② イスラエルを神のもとから**散らしてしまう**
 - ③ 神の救いを拒んだ結果、自らに**永遠の滅び**をもたらす
- 歴史的には、約40年後、ローマによるエルサレム陥落(AD70)
 - ① イスラエルの諸派の**分裂**の激化から、大規模な反乱へ
 - ② エルサレムの壊滅、神殿の焼失 → 世界中へ**離散**
 - ③ メシアを拒絶し通した者には、当然、**永遠の滅び**が!!

64

今なお続く イスラエルの罪の刈り取り

- 1948年、奇跡的にイスラエル国家が回復したが…
 - ① 建国後も続く、内部の激しい対立
 - 10・7直前には、国家を引き裂きそうなほどに
 - ② ユダヤ人の半数は、なお世界中に離散
 - 帰還した民が戻ってしまうケースも(特に欧米出身者)
 - ③ メシアに立ち返るものはわずか。ほとんどは永遠の滅びに!!
 - ユダヤ人によるユダヤ人宣教の広がり
増加しているメシアニックジューの存在が希望

65

イスラエルを待ち受ける世の終わりの最後の裁き

- 大難難時代(最後の7年)は、イスラエルへの最後の裁き
 - ① 反キリストとイスラエルの契約から開始
 - 14万4千人の回心したユダヤ人による世界宣教
 - ② 後半、反キリストが神殿を汚し、大迫害を開始
 - 災害や戦争で、2/3以上のユダヤ人が死去
 - ③ ユダヤ人殲滅を掲げる最終戦争(ハルマゲドン)が勃発
 - エルサレムの破壊。ボツラ(ペトラ)への避難

66

イスラエルの最後の希望

- ① 民族殲滅の危機に、残されたユダヤ人が、民族的回心に!!
- ② メシアが再臨、悪を撲滅。
 - 生き残った異邦人への裁き(羊と山羊の裁き)
- ③ 神の国(千年王国)の建設、エルサレム復興。
 - すべてのイスラエルは、エルサレムで主イエスに仕える

67

口が及ぼす災い

「舌は火です。不義の世界です。舌は私たちの諸器官の中にあってからだ全体を汚し、人生の車輪を燃やして、ゲヘナの火によって焼かれます。…舌を制することができる人は、だれもいません。舌は休むことのない悪であり、死の毒で満ちています。

ヤコブ3:6,8

- メシアをベルゼブル呼ばわりしたイスラエルの指導者たちは、言葉で真実を覆そうとして、恐ろしい裁きを自らに招いた。

私たちは、主への責任を負って、言葉を発しているだろうか？

68

刈り取りは避けがたいが…

「思い違いをしてはいけません。神は侮られるような方ではありません。人は種を蒔けば、刈り取りもすることになります。

自分の肉に蒔く者は、肉から滅びを刈り取り、御霊に蒔く者は、御霊から**永遠のいのち**を刈り取るのです。ガラテヤ6:7～8」

- 犯した罪には、厳格な刈り取りがある。信仰者も例外ではない。むしろ、地上生涯においては、正確な刈り取りがあるだろう。
- 信仰者の幸いは、福音を信じた恵みのゆえに、御霊により、**永遠のいのち**を刈り取ると約束されていること。

69

聖霊を冒瀆する罪とは？

- 主イエスの摘発
メシアの奇跡の拒絶 = 神の御霊の拒絶 = 神の救いの拒絶
- “**聖霊を冒瀆する**”とは、“**神の救いを拒絶する**”こと。
→「決して赦されない」 = 永遠の滅び
- 公生涯の間は、主イエスをメシアと信じて救われた。
→メシアと信じなければ、永遠の滅びに!!

70

今の時代における 聖霊を冒瀆する罪とは？

- “**聖霊を冒瀆**” = “**神の救いを拒絶**”
- 主イエス・キリストの福音を信じないまま、神の裁きの座へ
→**聖霊への冒瀆**として、永遠の滅びへ
- 私たちが生かされている限り、
悔い改めと救いの機会是与えられ続けている。

恵みの時代には、聖霊による救いへの導きは途絶えない

71

イスラエルにも異邦人にも残されている救いの道

- **バビロン捕囚**が定まっても、個々のイスラエルには、
悔い改めて、救われる道が残されていた。(捕囚先での安寧)
 - **エルサレム陥落**が決定しても、個々のユダヤ人にはなお、
悔い改めてメシアを信じれば、救いの道がやはり残されていた。
 - **世の終わりの裁き**は間近に迫っているが、
イスラエルも異邦人も、主イエスの福音を信じて、救われる。
- 個々人の救いの道は、メシアの再臨まで与えられ続ける**

72

イスラエルと異邦人の救い

■ ローマ人への手紙11:22

ですから見なさい、神のいつくしみと厳しさを。
倒れた者の上にあるのは厳しさですが、あなたの上にあるのは神のいつくしみです。ただし、あなたがそのいつくしみの中にとどまっていれば*であって、そうでなければ、あなたも切り取られます。

***本当に信じているか、主の前で誰もが明らかに!!**

73

★ 神のいつくしみと厳しさを ★

- **バビロン捕囚、エルサレム陥落、そして大難難時代。**
主が定められ、誰にも覆せない刈り取りは厳然としてある。
- 一方で、個々人は、主に生かされている限り、チャンスがある。
悔い改めて、福音を信じるならば、神の怒りから救われる。
- 神のいつくしみと厳しさを、正しく理解し、伝えて行こう。
裁きの厳しさを知るほどに、身に染み渡る主の憐れみがある。

74

てん どう わたし つみ
「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください
わたし かみ こ しゅ
私たちは、神のみ子、主イエス・キリストが、
わたし つみ あがな じゅうじか し
①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、
はか ほうむ
②墓に葬られ、
みっかめ ふっかつ しん
③三日目に復活されたこと、を信じます。
わたし じだい つづ かぎ みたま はた とだ
恵みの時代の続く限り、御霊のお働きは途絶えません。
すく ふくいん かか もの わたし つか
救いの福音を掲げる者として、私たちを遣わしてください。
しゅ ふたた こ まえ く あらた みちび
主イエスが再び来られる前に、悔い改めに導かれますように。
こころ おぼ いの ひとびと たましい う くだ しゅ であ
心に覚えて祈る人々の魂を打ち砕き、主と出会わせてください。
しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」

75